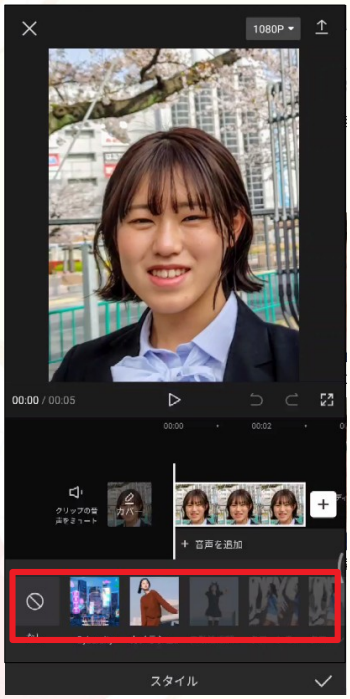
CapCut

キャプカット

応用編



動画編集アプリ「CapCut」は、スマホ画面で簡単な操作をするだけで初心者でも簡単に動画にいろいろな効果を加えて、お洒落でスタイリッシュなオリジナル動画を制作することができる無料のアプリです。

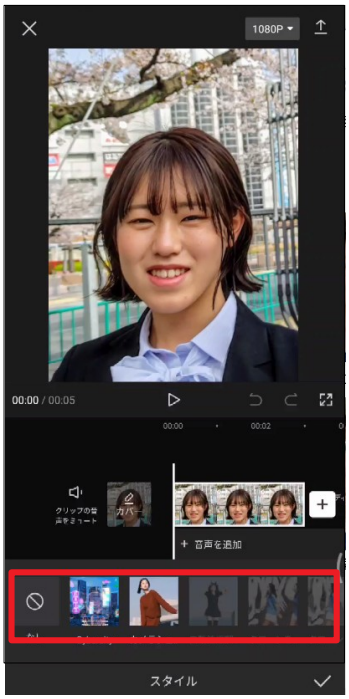
史上最強の動画編集

スマホ編
2022.6

1.スタイル

①顔を表示して「タイムライン」をタップして選択します。次に下部の「スタイル」をタップ。

②下部に「スタイル」種類が表示されます。8種類あります。静止画のみOKです。

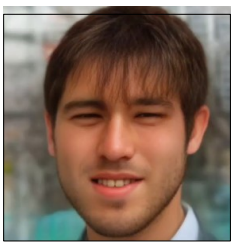


cyberclty

カメラシェイク

写真パズル

女性化


男性化

PopUPAlbum

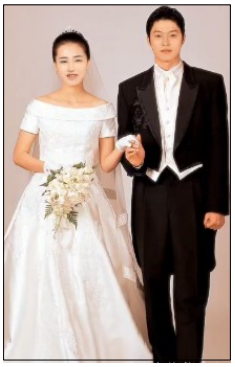
天使に

悪魔に

3Dズームプロ

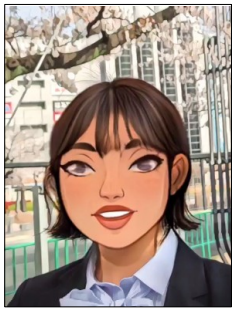
3Dズーム

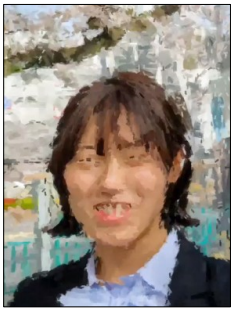
ウェディングドレス


カップル写真

ゲーム漫画

芸術的


古典的な漫画


絵画

ベビーフェィス

３Ｄマンガ

ビッグヘッド

マンガ風

スケッチ風

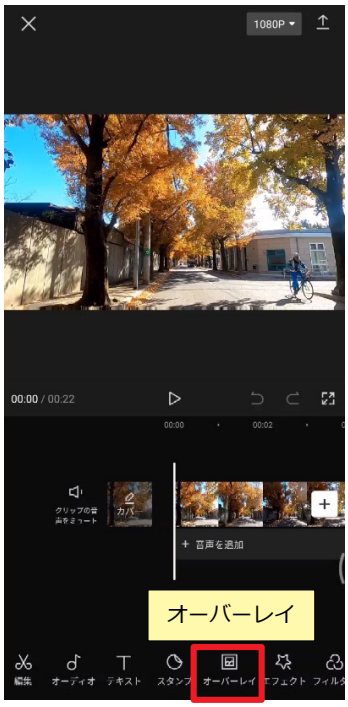
コミック

日本の漫画

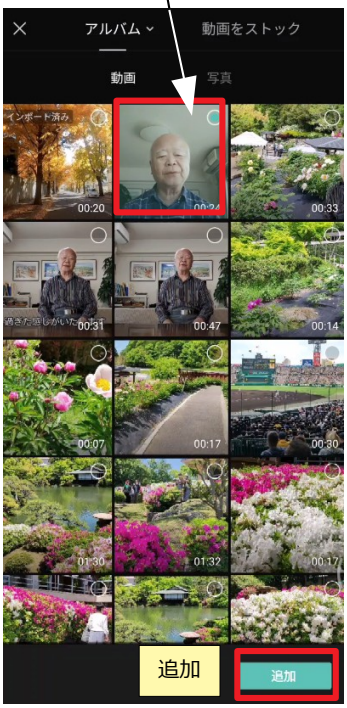
CapCutは
Bytdance社が提供するアプリです。TikTokの会社で有名なIT企業です。

2.合成動画・背景の削除(オーバーレイ)

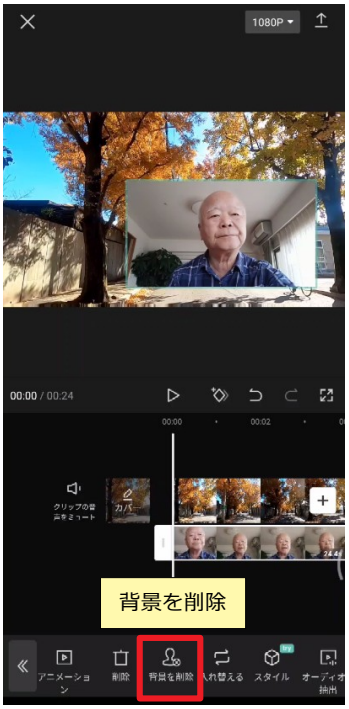
①背景となる動画(静止画)を選択します。次に「オーバーレイ」をタップします。



②「はめ込み合成を追加」をタップ、人物のクリップを「追加」をタップします。



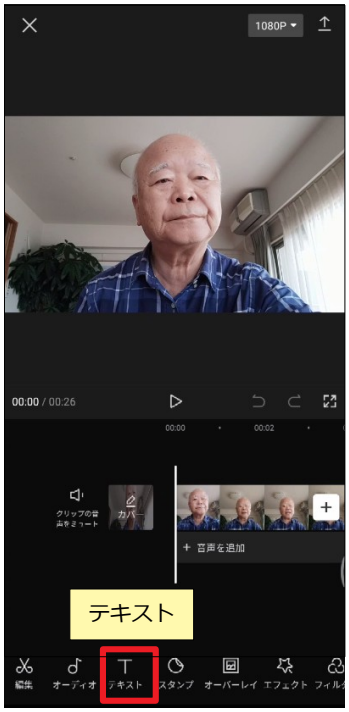
③人物が選択された状態で、カット編集してから下部の「背景を削除」をタップします。



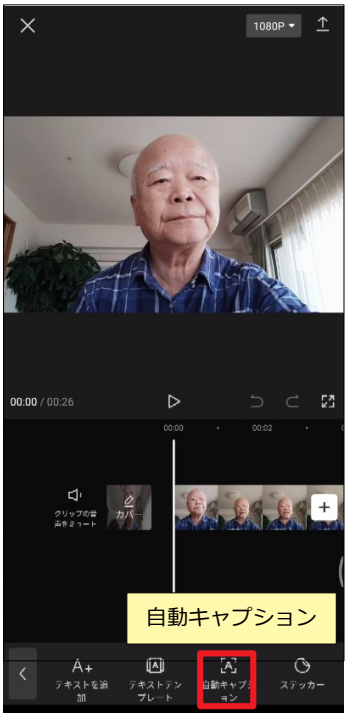
④背景を認識して、自動で切り抜いてくれます。位置や大きさを2本指を使って修正します。
2本の動画の長さを調整します。

3.自動テロップの作り方

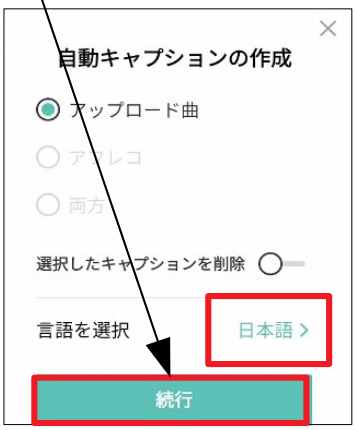
①使う動画を選択します。下部の「テキスト」をタップします。



②下部の「自動キャプション」をタップします。



③デフォルテ設定のまま、言語は日本語を選び「続行」をタップします。



※予め、人物が話している動画を作成しておく必要があります。スマホで簡単にできます。

④自動でテロップが入りました。文字の修正、変更の場合は、テキストクリップをタップ。下の「一括編集」をタップします。

⑤「選択」をタップします。

⑥すべて選択」をタップするとすべてのテロップが選択されます。

⑦テキストクリップを選択した状態で下の「スタイル」をタップするとフォントや文字の色も変えられます。

「自動キャプションに適用」をタップし✓が入っているとすべての文字に適用されます。

最後に✓マークをタップします。

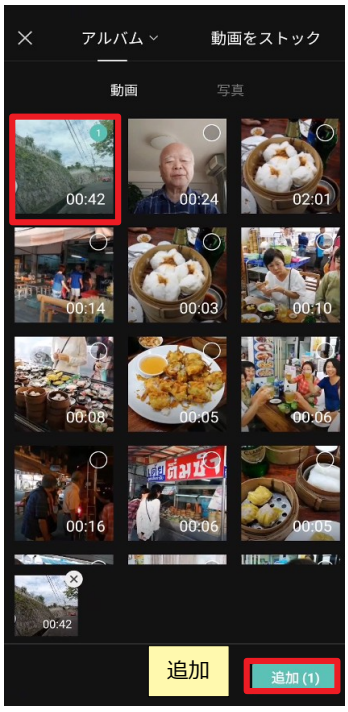
5.シネマスコープ(黒帯)をつけて映画風にする方法

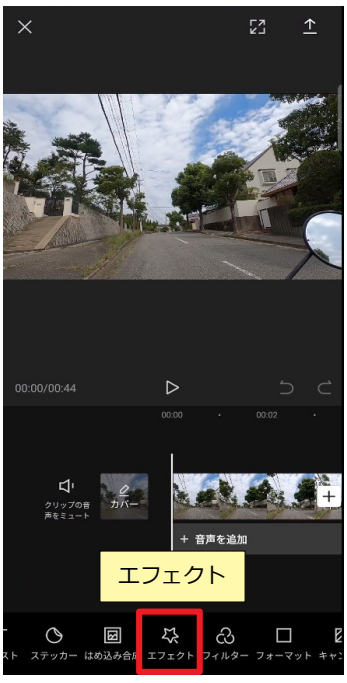
①映画風にしたい動画を選択して右下の「追加」をタップします。

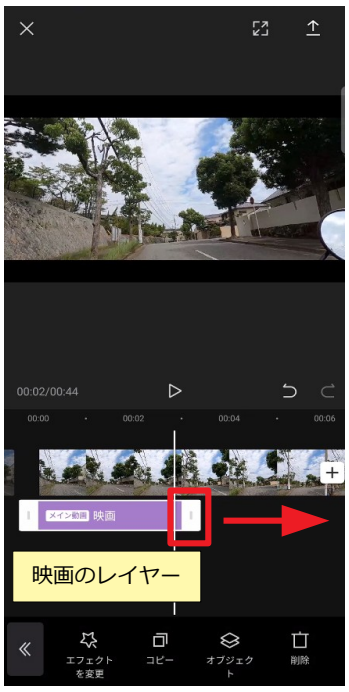
②何も選択していない状態で下部の「エフェクト」をタップします。

③「基礎」のなかにある「映画」または「シネマ」をタップして右上の✓をタップします。

④下に「映画」のレイヤーが追加されました。全部適用するためには、白い太線を右へ延ばします。





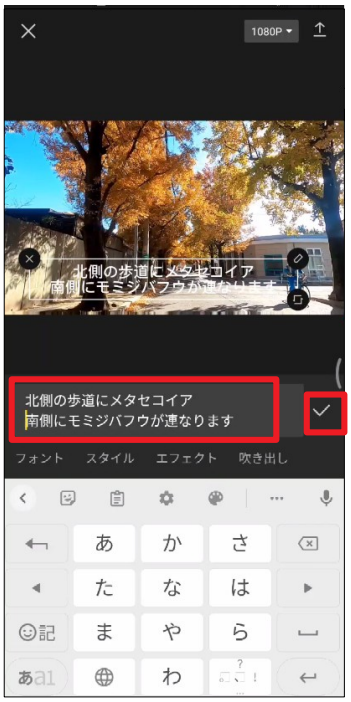


4.テキストの読み上げを行う

挿入したテキストを「読み上げ」させる方法です。、

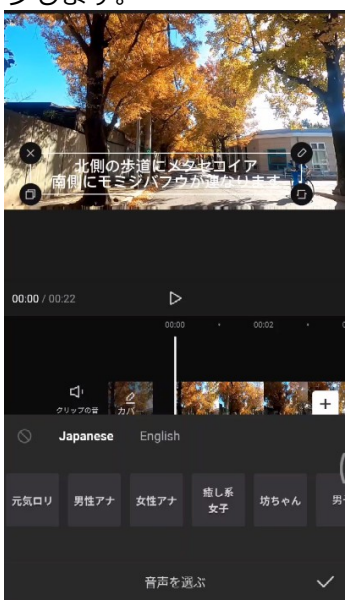
テキスト事例: 北側の歩道にメタセコイヤ、南側にモミジバウが連なります。

①通常通り動画にテキストを挿入して、文字の大きさやフォントを選びます。✓をタップ。



②テキストクリップが選択されているのを確認してから「テキスト読み上げ」をタップします。

③読み上げるボイスを下記から選びます。
ボイスは、「元気ロリ」「男性アナ」「女性アナ」「癒し系女子」「坊ちゃん」「男子」「女子」他。選択後✓をタップします。



④ボイスの選択が完了したら、画面上に読み上げている期間を示すテキストが配置されています。

5.動画を彩る「エフェクト」機能

エフェクトは、特殊効果のことです。キラキラを付けたりレトロなえいぞうにしたり、アニメーションをつけたり、枠をつけたりします。CapCutにはたくさんのエフェクトがあります。何も選択されない状態でエフェクトをタップ。エフェクトには動画エフェクトとボディエフェクトがあります。

動画→分割(4分割)

動画→フレーム(コミックフレーム)

動画→テクスチャー(古い1)

ボディ→ボディ(電光描写)

ボディ→感情(たたく)

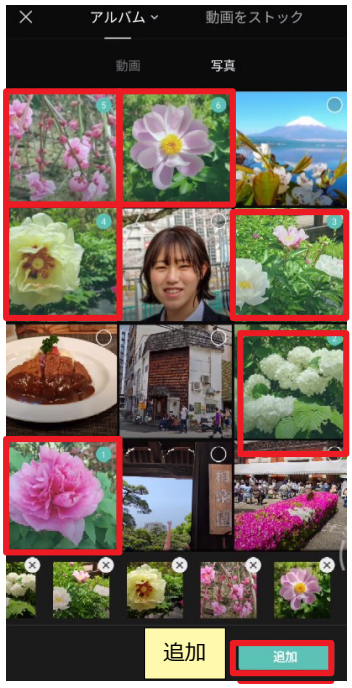
ボディ→イメージ(男性4)

6.Zoom 3D Pro(写真を立体加工する方法)

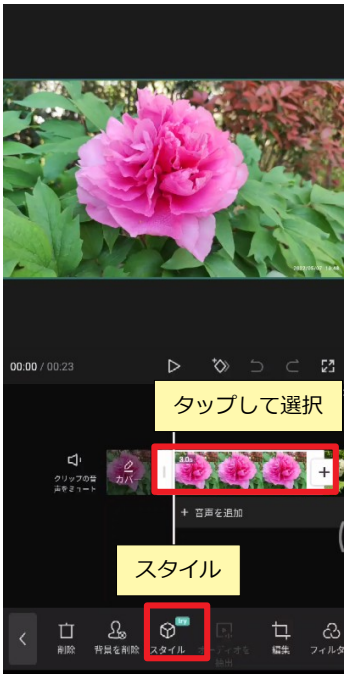
CapCutは、動画をメインとした編集アプリですが、3Dズーム機能は静止画のみ反映される仕組みになっています。そのため加工する写真は、必ず写真フォルダから選ぶようにしてください。

①「新しいプロジェクト」をタップします。

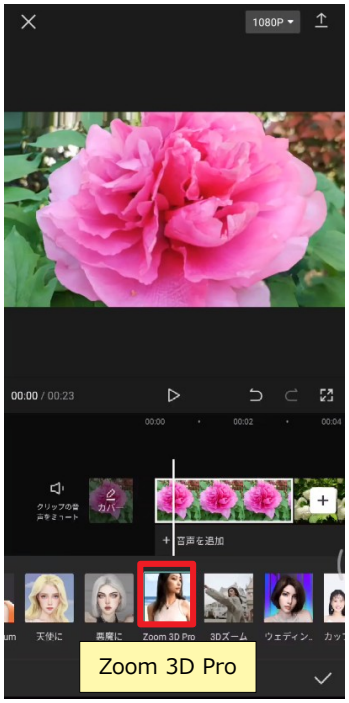
②立体的に動かしたい写真を数枚選んで、下部右の「追加」をタップします。今回は5枚選びます。



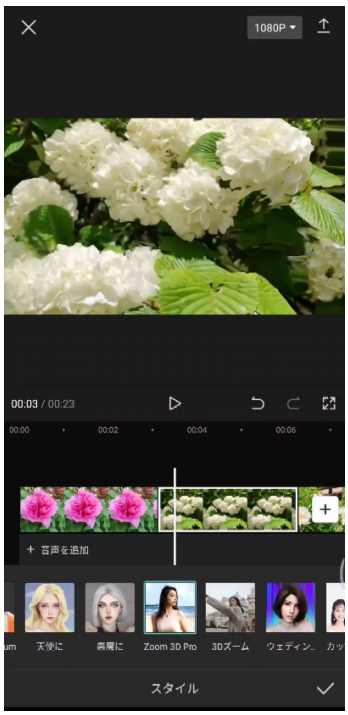
③タイムライン上の一枚目の写真をタップして選択します。下部に表示されるメニューを左にスライドさせて「スタイル」をタップ。



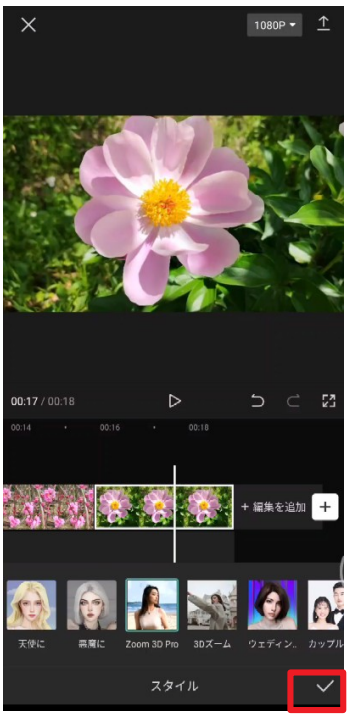
④「Zoom 3D Pro」をタップします。3Dズーム効果のプロセスが完成するまで待ちます。100%でOKです。



⑤同じ動作を他の写真に繰り返します。



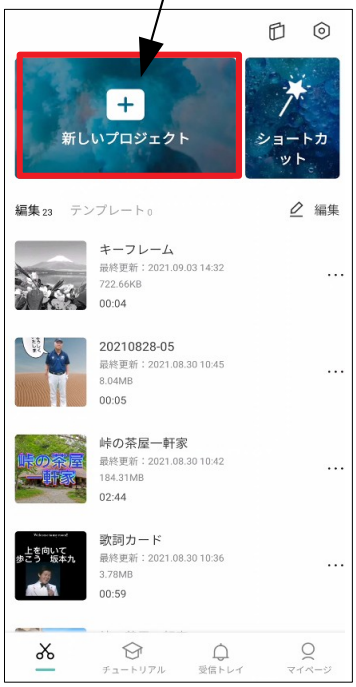
⑥処理が完了しましたら下部右の✓をタップします。更に左向きの→をタップして他の作業に写ります。



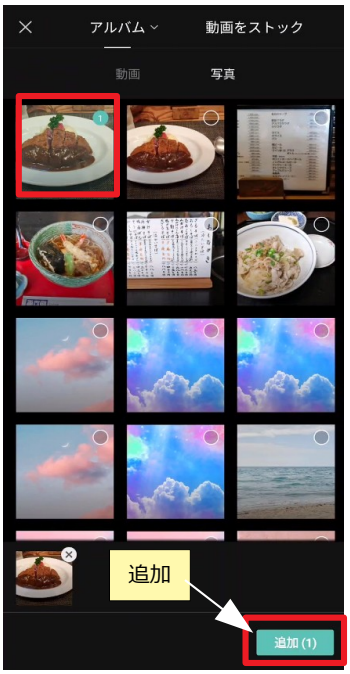
⑦「テキストの挿入」と「オーディオ」、「トランジション」を追加します。画面右上の「保存」をタップします。

7.画像(動画)をモノクロからカラーに徐々に切り替える方法

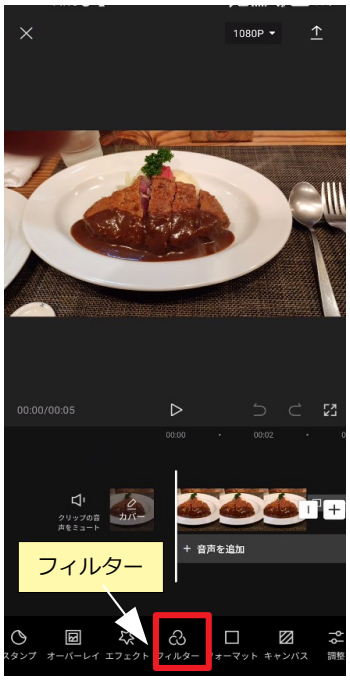
①「新しいプロジェクト」をタップします。



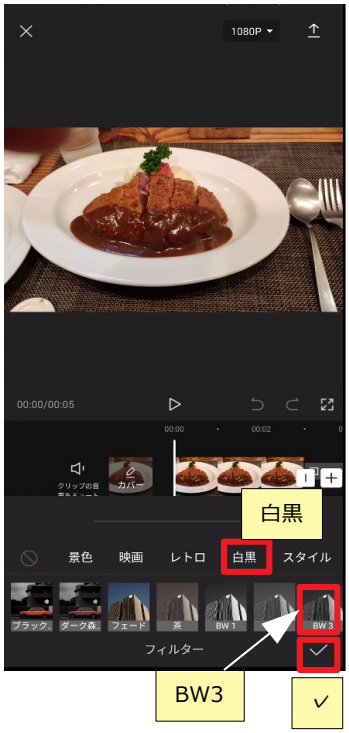
②加工に使いたい写真を選びます。動画でもOKです。右下の「追加」をタップします。



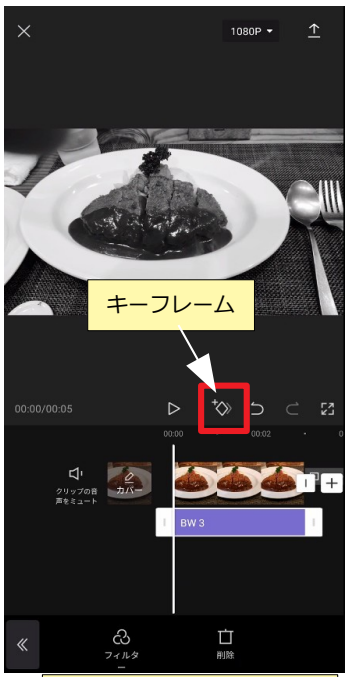
③下部の「フィルター」をタップします。



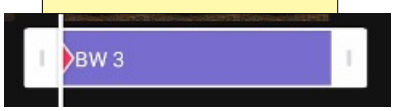
④下部の項目で「白黒」→「BW3」をタップ。次に右下の✓をタップします。



⑤クリップの上にある「キーフレーム」をタップします。

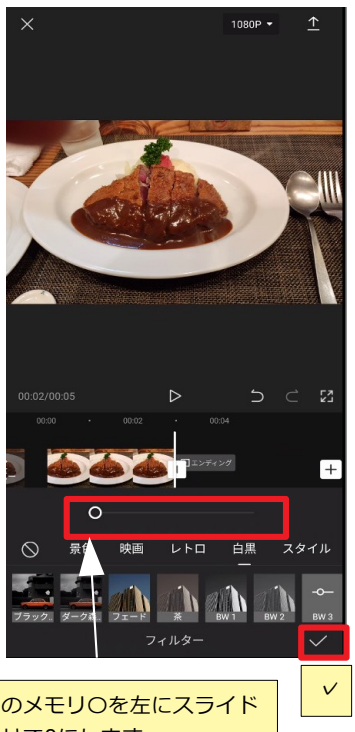


キーフレームが付きました



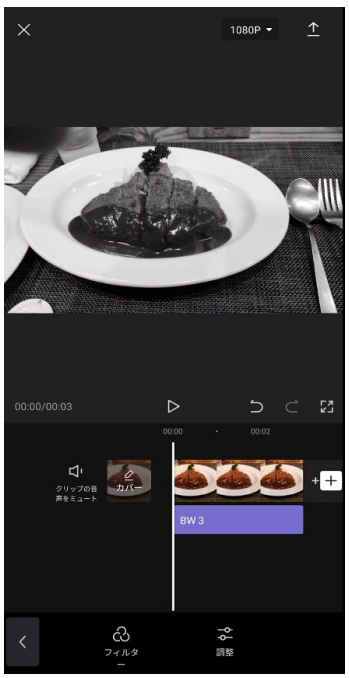
⑥スライダーをクリップの最後に合わせ、下部の「フィルター」をタップします。

⑦メモリの値を左にスライドさせて「0」にします。次に下部の✓をタップします。



このメモリ〇を左にスライドさせて0にします。

⑧これでモノクロ画像からカラー画像に徐々に変化します。



キーフレーム機能で出来ること

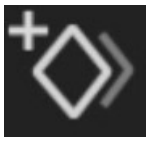
1.位置やサイズを変化させる

①マスクの位置やサイズをズラす。

②モザイクを顔に追従させる。

③動画を徐々に拡大させる。

④画像に動きを持たせる。



キーフレームはいろいろなことに
使えますので使いこなすようにいたしましょう!

2.動画やBGMの音量を変化させる

A地点での音量を100として、B地点の音量を0にしてキーフレームを打てば、
A地点からB地点へ徐々に音量が小さくさせることができます。

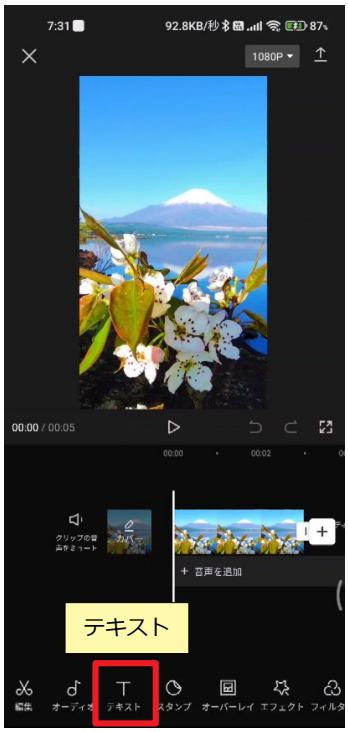
8.キーフレームで文字やスタンプを動かす方法

①下部のメニューバーから「テキスト」をタップします。更に「テキストを追加」をタップします。

②文字を入力します。
今回は「富士」と入力、入力後「エフェクト」をタップ。

③「スタイル」「エフェクト」「吹き出し」などで文字に効果を加えたり装飾したりします。
フォントは「オーバーラック」にしました。次に文字入力の右側の✓をタップします。

④動画の長さに文字の長さを合わせます。縦の白い線を最初に合わせます。文字の大きさを調整してスタートの位置に移動します。
次にキーフレームのボタンをタップします。



キーフレームを使って文字の色を徐々に変える方法。回転もできます

①「動画」または「画像」を追加します。

②「テキスト」→「テキストを追加」をタップして文字を入力して色、フォントなど変更します。次に✓をタップ。

③テキストをクリップ先頭に合わせ「キーフレーム」をタップします。キーフレームが打たれました。

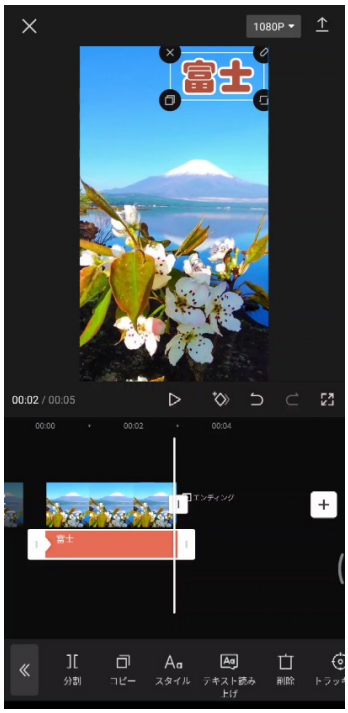
④テキストの色を徐々に変化させるためスライダーをテキストの最後に合わせます。

⑤下部の「スタイル」をタップして、好みの色を選択してタップします。✓をタップします。

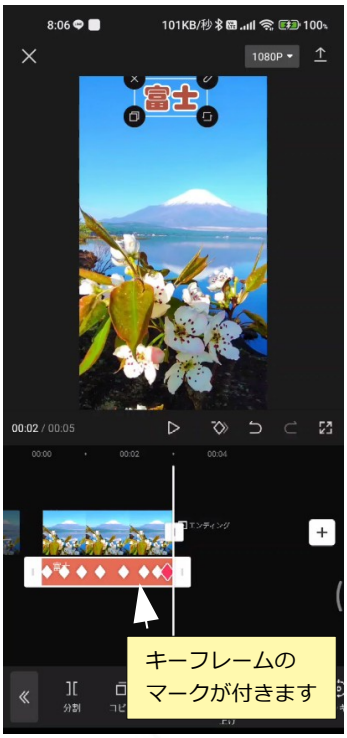
⑥二つ目のキーフレームが打たれました。

⑦文字を回転することもできます。

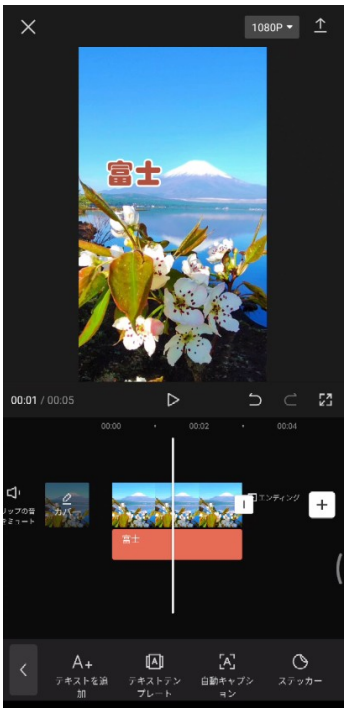
⑤白い縦線を終点に移動します。文字の大きさや位置を変更します。これで始点と終点にキーフレームが設定されました。



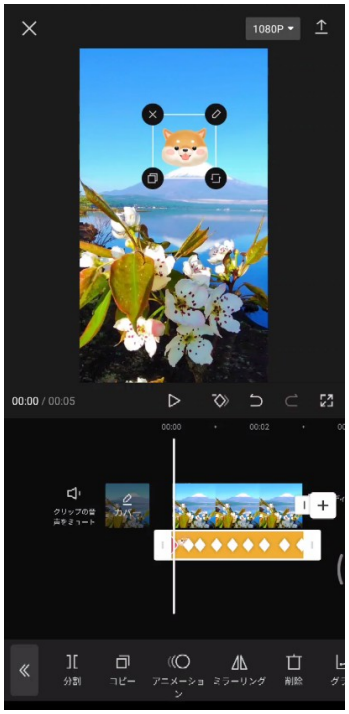
⑥始点と終点の間に白い縦線を少しずつ移動し文字の位置も変更します。
自動でキーフレームのマークが入ります。



⑦これでキーフレームに沿って文字が自由に移動します。これは文字だけでなくマスク、モザイク、音量など幅広く応用できます。



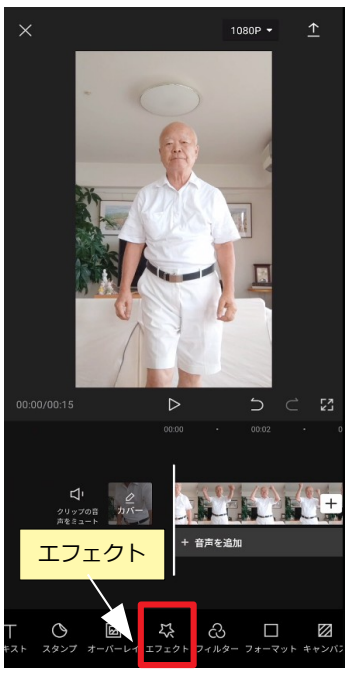
ステッカーの使用例です



9.グローライン

「グローライン」機能は、動画内の人物の動きを追跡し、顔や体の輪郭を自動的に検出することでグローライン効果を加えることができます。この機能は、バスケットボール・スケートボード・ダンスなど様々なシーンで利用できます。一つのモーション動画をアップロードして、映像に特殊な効果を与えることが可能となります。音楽を挿入すれば効果的です。

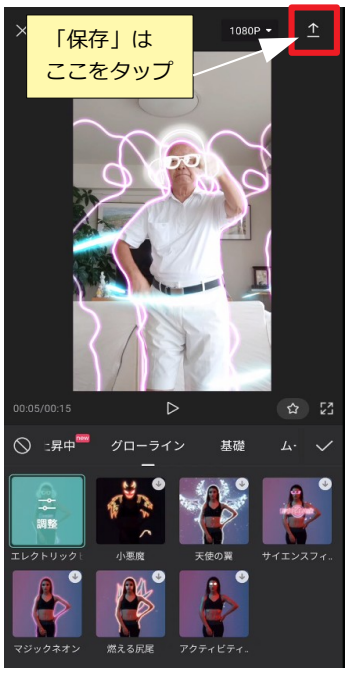
①動画素材を用意します。下部の「エフェクト」をタップ。



②下部の「動画エフェクト」をタップします。

③「グローライン」をタップして下の種類を選びます。

④グローラインの種類は
・マジックネオン・燃えるシッポ・エレクトヒップホップ・天使の翼・サイエンスフィクション・アクティビティがあります。



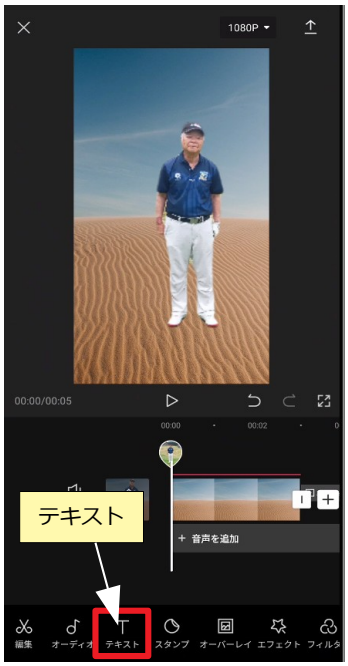
10.テキストを縦書きで入力したり、後から縦書きに変更する方法

①下部の「テキスト」をタップします。次に「テキストを追加」をタップ。

②文字を入力します。下部の「スタイル」をタップしてフォントの種類や文字色、ストロークなどを設定します。

③「吹き出し」をタップし吹き出しの種類を選びます。

④下部の「スペース」をタップ、左から4つ目の縦三本線をタップします。



⑤これで縦書きになりました。

⑥「吹き出し」の種類はたくさんありますので好みのものを選んでください。

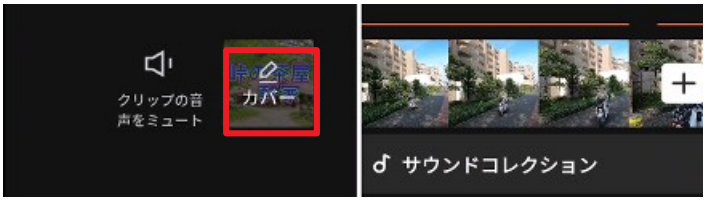
※「吹き出し」にアニメーションを付けることもできます。

◆日本語のフォントも数多く用意されています。

- **システム**
- 手書
- **居酒屋**
- ポシティブ
- 結月
- **書道**
- 幸せ
- くりぬく
- **教科書**
- **元也**
- メモ帳
- メモ
- スクリプト
- ブロック
- 吹き出し
- オーバーラップ
- レギュラー
- ローマ
- キャビン
- 小杉ゴシック
- アドゴシック
- セリフライト
- **セリフ太字**
- モーダー太字
- モーダーライト
- ビジネス
- **HG行書体**
- **コスギ**
- ゴシック
- コミック
- 手書き
- 子供たち
- 筆

太字は、標準的なフォントでお勧めです。

11.カバー

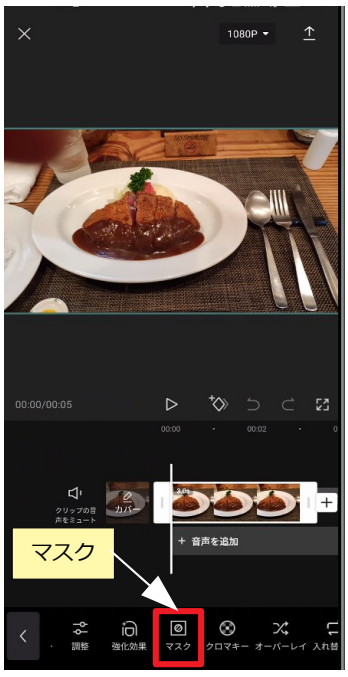


カバーフレーム(サムネイル、カバー写真、カバー画像)を作成することができます。カバーフレームとは、主にSNSなどで動画を再生する前に表示される画像です。簡単に言うと表紙のことです。
動画の各シーン(フレーム)から静止画を選択することや、スマホ内にある画像をアップロードしてカバーにすることもできます。静止画を選んだら、自分でテキストを入力したり、テンプレートを使用することも可能です。
テンプレートは、「Trending/Vlog/Fashon/Food」から選択が可能で、気軽にお洒落なカバーを作成できます。
テンプレートの内容(テキスト、サイズ、位置、傾き、スタイル、エフェクト、吹き出し)を変更することもできるのでテンプレートをベースにして自分のオリジナルなものが作れます。

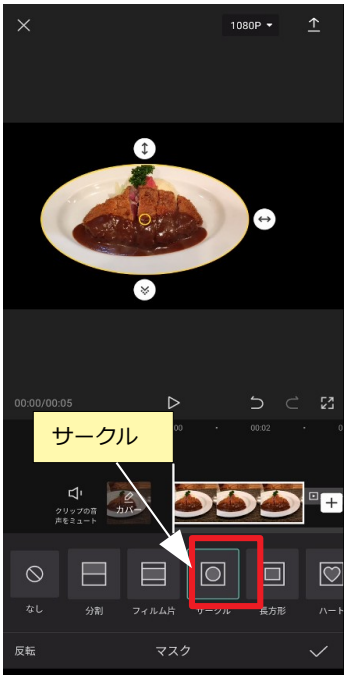
12.マスクの使い方

編集のマスクをタップすると、様々な形で動画にマスク（周りを黒くする）することが可能になります。例えば、ハートのものを選ぶと、動画がずっとハートの形で再生されるようになっています。マスクの編集後は必ず設定保存のためにチェックマーク✓をタップしてください。

①タイムラインの画像をタップ、下部の「マスク」をタップします。



②下部の「サークル」をタップしてサークルの大きさを調整します。



③オーバーレイ→はめ込み合成でマスクを活用した事例です。

なし　分割　フィルム

サークル　長方形　ハート

星型

13.調整

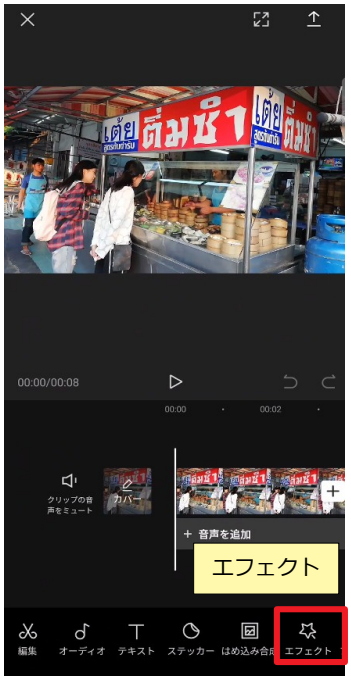
編集から調整をタップすると、以下のような編集を行うことができます。

- **明るさ**
- コントラスト
- 飽和色
- 鮮明化
- ハイライト
- シャドウ
- 色温度
- 色合い
- フェード

「明るさ」を調整した事例

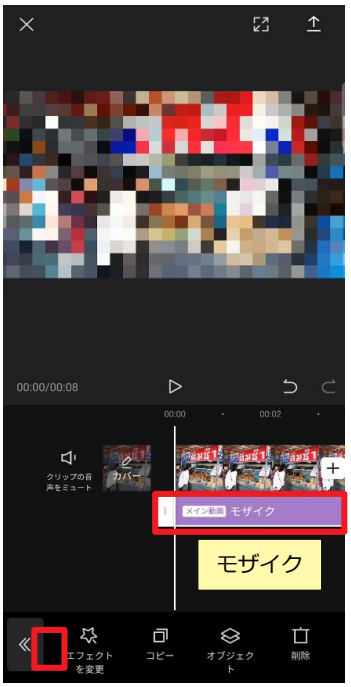
14.モザイクをかける方法

①モザイクをかけたい動画を表示して、下部のメニューから、「エフェクト」タップします。

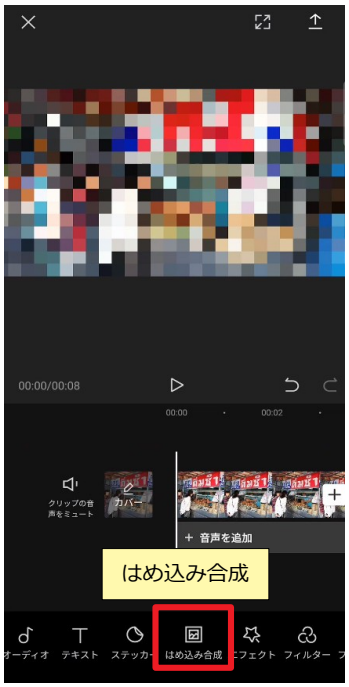


②「基礎」の中の「モザイク」をタップします。次に✓をタップ。

③モザイクの部分を動画の長さに合わせます。モザイクの右端をタップして右へスライドします。下部の⏮をタップ。もう一度❮をタップ。

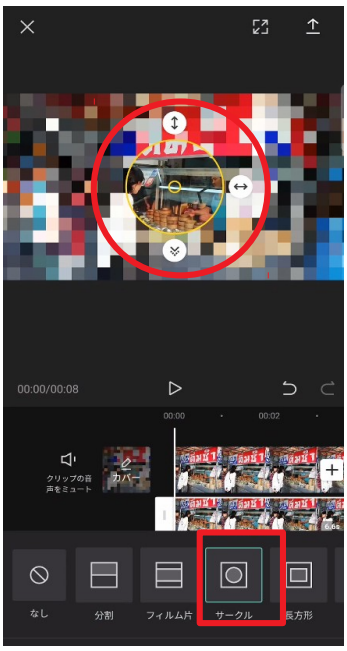


④下部の「オーバーレイ」→「はめ込み合成の追加」をタップします。

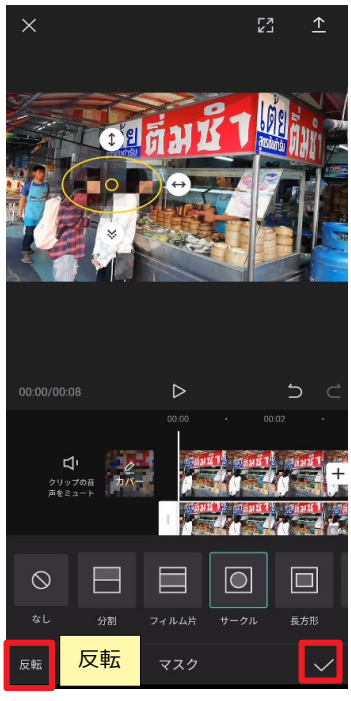


⑤同じ動画を追加しました。プレビュー画面で追加した動画を2本指で拡げて同じ大きさに調整します。下部の「マスク」をタップします。

⑥「サークル」をタップ。丸の部分以外は消すということです。丸の部分を隠したい顔の部分に合わせます。大きさも調整します。



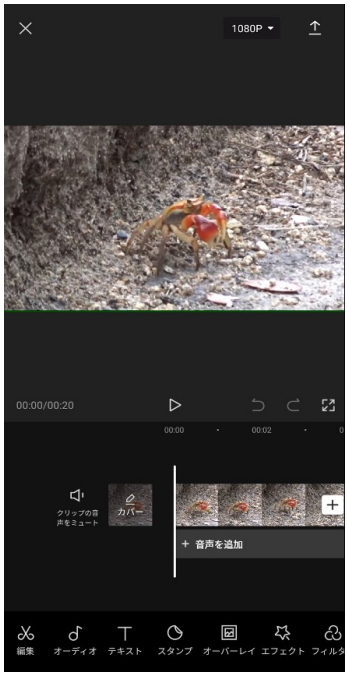
⑦「反転」をタップします。⁘でモザイクの強弱を調整できます。✓をタップします。再生して見ましょう



⑧人物が動いてモザイクがはずれる場合は、キーフレームを使用すれば追従します。

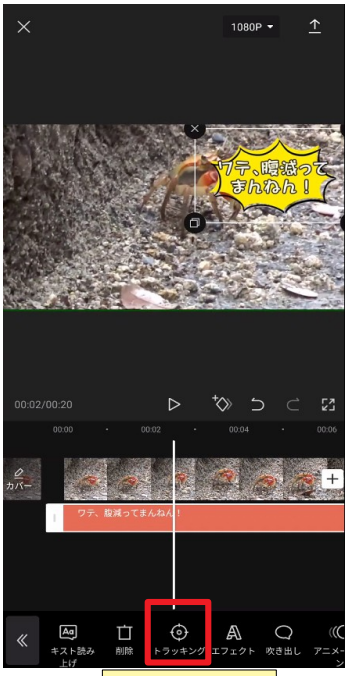
15.トラッキング

①動画を表示します。



②テキストを追加します。「吹き出し」にして文字を入力します。次にレをタップします。

③テキストを動画の長さに合わせます。次に下部の「トラッキング」をタップします。

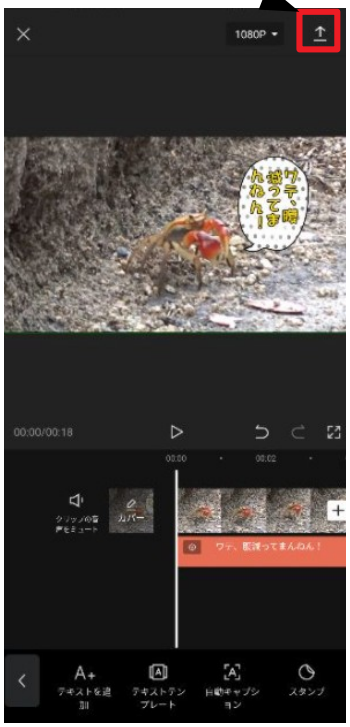


④黄色の円が表示されます。被写体に合うように円を作ります。円を動かすのがポイントです。

⑤次に下部の「トラッキングを開始する」をタップします。

⑥読み込み中です。

⑦完成です。これでカニと吹き出しテキストが連動しています。
次に「保存」をタップします。



※動きの速い動画は、上手く行かない場合もあります。

2022.6.3